# 阿知須町広報

No.171　この広報紙は毎月1回各ご家庭にもれなく配布

昭和41年1月1日

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
印刷　宇部新聞印刷所


**今月の納税は**

町県民税の第4期分
国保保険税の第8期分
年金保険料の1月分

**寄付三件**

一金5百円也
川崎市四谷上町二三七の一
セントラル化学寮
河野　八祐

右は広報郵送お礼として

一金一万円也　先般片岡文之進さんが亡くなられましたが、長男逸雄さんから香典返しとして右金額を社会福祉協議会事業資金として寄付されました。故人のご冥福をお祈りいたします。

一金一千円　廣田　一郎
保育所事業資金として

瀬戸内の海の島かげから旭が昇り西の山にアカネ色の夕日が沈む私たちの町〝阿知須町〟は昔、時賀々宝と称し、後に賀宝と略称され、さらに加保となりまた白松加保荘というようになりました。大内氏の一族で白松氏の領地であつた天明以前は、佐山、阿知須一円を井関村として支配していましたが、天明年間、佐山須川、遠波、小路鳩岡をもつて、佐山村へ小都合座を設け、文化元年阿知須、由良、飛石、鳩岡、岩倉の五給を引きわけて、阿知須浦で井関惣給と称するようになりました。そして小都合を立てたり皆小都宰判に属しましたが、明治6年12月、大小区制が布かれて現在の範囲とし第11区第12小区と称するようになりました また明治11年7月太政官布告第17号をもつて郡区村編成法を発布され、井関村と称し翌12年1月から吉敷役所の管轄するところとなり、初めて村会を開くに至りました。そして明治22年4月佐山村と合併して自治制を実施し、明治32年4月大字佐山を分離して佐山村とし、大字井関村となりました。そして昭和15年11月3日から町制を施行し阿知須町と改称し、昭和19年小郡その他7カ町村と合併して山口市となりました。

しかしながら昭和22年11月独立の立場から山口市と分離し、ふたたび阿知須町となり、地方自治確立と各種産業、文化の発展と相まつて一大飛躍を続けております。

特に本町多年の念願だつた工場誘致も昭和38年に若山産業株式会社阿知須合板工場が誘致され、翌39年1月から本格的に操業を開始。そして285ヘクタールの拡大な用地を有し7億5000万円をかけて昭和39年に完成した阿知須干拓とあわせて、今や山口県民の総力を結集してその実現に邁進している椹野川総合開発によつて、東にはエントツの林立する一大工場地帯を夢みながら、砂合墓地の岡山移転工事や都市計画街路事業が行なわれ、順調に進展を続けております。

また西には昨年10月に万年池コースの起工式を行なつたゴルフ場をはじめ温泉などいこいの場として一大飛躍を続けております。

## 季節の話題

### 〝ななくさがゆ〟の由来

正月7日の朝に「ななくさがゆ」をたいて祝う風習は古くからあわ、あずき、きび、こむぎ）で行なわれて、私たち日本人の年中行事の一つになっています。

最近はこうした行事もだんだんうすれてきましたが「ななくさがゆ」などは日本人独特の祝いごとの一つとして受けついでいきたいものです。

「ななくさがゆ」の風習の始まりは、平安朝時代以前からといわれています。当初は七草でなくて七つの穀物（いね、むぎ、まめ、七草、（ゆり、なずな、はこべ、ははこぐさ、おおばこ、すずな、だいこん）などの野草や野菜にかわったのです。

一説には、前者の七穀を正月の供物として供えたあと、七日に後者の七草といっしょに雑炊にしたのが「ななくさがゆ」であるといわれています。

この「ななくさがゆ」を今日的に考えてみますと、案外生活の知恵として、私たちの正月の食生活に利用できます。

すなわち、とかく正月は胃腸の負担が過重になり勝ちです。そこで野菜がゆで胃腸に休養を与えることはしてく合理的なことといえます。同時に、とかく冬季に不足勝ちな野菜をとることによってビタミンCの補給もできるというわけです。

ですから「ななくさがゆ」の風習は私たちの祖先が長い年月をかけて直感的に学びとった生活の知恵ということができます。

## 年新賀謹

阿知須町長　中尾岩雄
〃　助役　工藤靖天
〃　収入役　中尾雪蔵

阿知須町議会議長　藤村忠明
〃　副議長　藤野太助
議員（総務委員長）　岩村幸治夫
議員（総務副委員長）　安田一夫
議員（総務委員）　辻永茂六
議員（総務委員）　大沢文男
議員（産業委員長）　菊本改一
議員（産業副委員長）　藤岡忠雄
議員（産業委員）　中野次介
議員（産業委員）　水本幸作
議員（社会委員長）　重村精一
議員（社会副委員長）　古谷雄一
議員（社会委員）　大村軍蔵
議員（社会委員）　橋本宝作
議員（社会委員）　重村三郎

阿知須町公民館長　中尾正一
阿知須町教育委員会　教育長　竹本秋吉
委員五　外委員一同職員一同

阿知須町民生児童委員会　総務　河村菊態　外委員一同

阿知須町選挙管理委員会　委員長　伊東隆一　外委員一同

阿知須町固定資産評価審査委員会　委員一同

阿知須町監査委員　委員長　伊東隆一　外委員一同

阿知須町消防団長　三好正之　外団員一同

阿知須町農業委員会　会長　中尾定雄　外委員一同

阿知須町広報委員会　委員長　伊藤敏男　外委員一同

阿知須婦人会会員一同
井関婦人会会員一同
阿知須町青年同志会会員一同
阿知須町連合青年団団員一同
白梨会会員一同
遺族会会員一同
阿知須町体育協会会員一同
阿知須町農業協同組合長　伊東隆一　外職員一同
阿知須漁業協同組合長　工藤一之進　外職員一同

# 年頭のことば

## 新しい時代の新しい町をめざして
### 町議会とともに町民の福祉増進に努力

町長　中尾岩雄

新年明けましておめでとうございます。

輝やかしき一九六六年、昭和四十一年の新春をお元気で迎えられたことと心からお喜び申し上げます。

さて昭和四十年を回顧してみますと、まず簡易水道敷設工事が完成し、ことし四月から二校の児童生徒に完全給食を実施する給食センター工事は、内部施設の設置を残すのみとなりました。そして大事業ともいうべき砂合墓地の岡山移転工事や都市計画街路事業も順調に進展し、まさにこの一年は、本町が未来に向って大きくはばたいた年だったといえましょう。これもひとえに皆様方のご支援とご理解あるご協力の賜と心から感謝の意を表するしだいでございます。

さて今や国営干拓工事も完成し椹野川総合開発計画も着々とその実現に向って邁進しつつありますが、こうした大きな展望の上に立って、将来、本町の構想を考えますときに、国および県との要路をより緊密に結びつけることによって、砂合墓地の岡山移転工事や都市計画街路事業の早期実現を早りまた急速に発達する社会情勢や経済情勢に対処する行政水準を保つことができるものと確信するものでございます。そして諸般の懸案事業も順調に進展すべく清新な意欲をもってこの重大な時期の任務に当たる所存でございます。

また皆様の高度な「和」の精神をもとに新しい時代の新しい阿知須町をめざし、花と緑と太陽の明るい住み良い、うるおいのある町を築きあげ、将来、施設、教育、文化などあらゆる発展のささえとなるよう各方面にたゆみなき前進飛躍を続けねばならないと存じます。そして皆様の声をさらに町政に反映さし、町議会ともども住民福祉に寄与したい所存でございます。

どうかことしも昨年同様、皆様方の温いご支援とご協力を賜わりますとともに、皆様のご健康とご幸福をお祈りいたしまして、年頭のごあいさつにかえさしていただきます。

## 災害への予防に全力を

阿知須町消防団長　三好正之

新しい昭和四十一年の新春を迎え、謹しんで新年のお慶びを申し上げます。

幸福に私たちの生活も、平和な郷土、災害のない社会からはぐくまれて来るものであります。昨年度は本町にもさして大きな天災、人災もなく、ことなく一年を過して来た事は、何よりも幸いな事でまことに喜ばしい限りであります。本年もどうか幸福で平和な年でありますよう、ひたすらお祈りするものでありますが、天災、人災はいつ起るかも知れず、往々にして忘れかけたときに起るのが常であります。地域社会における生命財産を守る義務のある私たちは、皆様とともに災害への予防に万全を期したいものと思っています。しかし不幸なりとも多少なりとも災害の起るような事があれば日頃の訓練を生かし、郷土愛による団結力をもって災害を最小限にくい止めるよう強い覚悟と堅い信念に燃えているものであります。

幸いに本町には、このたび町当局の絶大なるご援助により、最新式の消防車が増車され消防活動にも一大威力を加えることになりましたので、防災にも物心両面から万全を期しているものであります。地域社会の皆様も、なにとぞ我々の業務の苦衷をご推察いただき、ご指導ご鞭撻を仰ぎたいものと思っています。そして明るい平和な町づくりの一端をになう者どもへのご協力をよろしくお願いいたしまして新年のごあいさつにかえさせていただきます。

## 生きた広報紙として

広報委員会委員長　伊藤敏男

新年明けましておめでとうございます。輝やかしき昭和四十一年の新春を皆様とともにお迎えできましたことを心からお喜び申し上げますとともに、昨年は親しくご愛読ご支援を頂きましたことを心から厚くお礼申し上げます。

さて、阿知須町は町当局をはじめ関係各位のご努力と町民各位の建設的意欲とご理解あるご協力により、着々と実現に邁進している砂合墓地の岡山移転工事、そして椹野川総合開発計画という大きな展望の上に立って着手された都市計画街路事業と、新しい時代に即応した新しい町づくりにたゆみなく前進飛躍を続けております。

この情勢の中においてその広報紙の使命の根本理念にそって町政の歩みと実現の姿を皆様により広く深く、そして正しくご理解して頂くために、常に我々広報委員一同は、皆様方が広報紙に対し一対何を欲し、また何を望まれているかをしっかりと把握し日常生活に直結した生きた広報紙となるよう、その内容充実強化に努力しております。

今年も皆様の生活の中にとけこみ、皆様とともに歩む広報紙として少しでも皆様の福祉増進に寄与し、それが明るい町づくりの布石になるよう格段のご支援をお願いいたしまして新年のごあいさつにかえさせて頂きます。

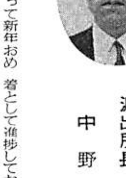
## 理想像をおって

町議会議長　藤村忠明

人間としてこの世に生まれた以上、名を後世に残すような仕事をすることが人間最高の名誉であることは、今も昔も変りはないと思います。これがためには達成しようとする最高の理想像を描き、できうることから一歩一歩実現の運びにこぎつけ、これを累積することによって、大事業をなしとげることができるものであります。年の変り目はこうした仕事の区切りをつけるための一小節として重大な意義があります。先覚者の着想は全く夢のように思われ、現在人にとって直ちに受け入れられないことがしばしばであります。メンデルという遺伝の学者が遺伝の法則を発表したとき、誰れもこれを信ずる人がなく、これが正しいものとして一般から認められたのはそれから60年後、彼が死んだ後のことであったことは、世界最大の不幸な記録ということができましょう。こうした事は今の世にも大なり小なり身近な町にもあることはやむを得ないことであります。

当町におきましては椹野川総合開発を達成し、人口5万の町造りをするという理想像があり、その目標に向って着々と進行しつつあることはまことに喜ばしいしだいであります。万年ー江畑周辺の開発、干拓の完成、工場の誘致、夢としか思われなかった水道の敷設都市計画の具体化、岡山墓地に画期的な合同塔の建設などは特筆すべきものでありましょう。ことしは馬の年にちなんで、さらにさらに一大障害を飛越して希望の丘に到達できるよう念願し年頭の辞といたします。

## 新年にあたり



阿知須警察官派出所長　中野茂美

一陽来復、まずもって新年おめでとうございます。町内のみなさま方も期待と希望をもって新年を迎えられたことと存じます。

私事、旧年4月に当派出所への着任時にごあいさつ申し上げましたとおり、阿知須町は人情こまやかであり、凶悪事件の発生もなく四十年を送ったことをみなさんとともに喜びたいと思います。勤務を通じてお見受けしましたところでは水道の完成、墓地の移転、道路の改修、都市計画の推進など着々として進捗しておりまして将来の発展を約束されており誠に結構なことと感じました。

町内の治安をあずかる私としましては、このように発展のいぶきに燃える当町に任地を得ましたことを幸いと思い、ことしも一層の協力をしたいと覚悟を新たにしておりますので、旧年に倍してご支援とご協力を賜りたくお願い申し上げて新年のごあいさつといたします。

新年明けましておめでとうございます。

さてお正月の年始が一応終りますと、6日は小寒で寒さもいっそうきびしくなります。

15日は成人の日、終戦の混乱期に生をうけ、苦しい戦後を生きぬいて育った若人たちに栄光が輝やくよう心からお祝いしたいものです。

### 一月の家事

21日は大寒。一年中でいちばん寒いといわれる日です。どうかカゼをひかないよう十分注意が肝心です。

お正月の年始が終ったら今年の生活設計をぜひ立てること、とくに若い人たちに、実行するようのぞみます。児童、生徒のおられるご家庭では8日が始業式です。ご用意はいかがですか。

年賀状の整理も10日ごろまでにすましておきましょう。

一月は冬とはいっても、初春というくらいです。春も間近いことのつくろいものや、衣服の準備にとりかかりましょう。生活も室内にこもりがちですから換気に気を配ってください。

### 一月の衣服

お正月に着た晴着の始末はおすみですか。しみやよごれは自分の手に負えないと思ったら専門家に任せましょう。へたをするとあとで使いものにならなくなります。

この4月に学校を卒業して、就職する方々は、早目に就職用の衣服を用意しておきましょう。2月末から3月にかけて、衣類も高目になります。

冬物の安売りを利用いたしましょう。ことしはとくに繊維業界の不振から、冬物整理の売出しがあちこちで見られそうです。のび盛りのお子さんのおられるご家庭では、この整理売り出しをよく研究されて、合理的に衣服計画をおえて下さい。

一月も末になると冬物の毛布やマットレスなども投げ売りに出てきます。いずれも季節はじめにくらべ3～4割安となるようです。

ただ気をつけなければならないことは、投げ売り、整理売りと称して粗悪品を売っているところもあります。信用のある店を選ぶこともたいせつです。

## 新年を迎えて
### あなたの声を知事へ
### 県民の声を募集中です

広く県民の皆さんから知事に対する要望や意見を伺い、いっそう親しみやすい魅力ある県政、躍進する山口県を築くために、県では県民の皆さんから県政に対する要望や意見などを伺い、これを施策に反映するように努めております

ことしはさわやかな新年を迎えた時期を選んでこうした公聴活動を行ないますが、"この声こそ知事へ" "このことはぜひ県政へ" など建設的な意見や切実な要望などをそれぞれの立場から自由に述べて頂くよう県では望んでいます

方法、あて先などは次の通りです

◎方法　①用紙はハガキを原則とします。②住所、職業、年令、氏名、男女別を書いてください。ご都合ではとく名でも結構です。

◎あて先　山口県厳島県庁広報課声の係気付

山口県知事　橋本正之

◎期間　昭和41年1月1日から1月15日まで

◎取り扱い　ご意見ご要望にはできるだけ回答を発し上げるとともに県政に反映させるよう努力いたします。

# 謹賀新年

阿知須商工会長　兼重文一　外会員一同
阿知須郵便局長　生田一枝　外職員一同
阿知須駅長　原田武雄　外職員一同
山口銀行阿知須支店長　上原桝衛　外職員一同
吉南信用金庫阿知須支店長　白石与市　外職員一同
宇部カントリー倶楽部　国司恭平　外職員一同
小郡警察署阿知須警察官派出所長　中野茂美　外職員一同
阿知須中学校長　多根整一　外職員一同　育友会後援会員一同
阿知須小学校長　野原得二　外職員一同　PTA会員一同
井関小学校長　徳田晋作　外職員一同　PTA会員一同
行政相談員　江本悦蔵
阿知須共立病院長　三好正之　外職員一同
阿知須同仁病院長　兼定彰　外職員一同
小古郷東区長納税組合長　細中房一
小古郷西区長納税組合長　橋本新一
小古郷南区長　藤本明義
納税組合長　古浜宇八
北祝区長　沢田和男
納税組合長　岩井久生
南祝区長　松本隆夫
納税組合長　中尾哲夫
恵比須区長　大浜豊明
納税組合長　中野種次
築地区長　弘中得男
納税組合長　徳本テル子
東区長納税組合長　工藤記代志
細田南区長　谷川常雄
納税組合長　角友セキノ
細田北区長　石田正美
納税組合長　中村更甫

本町総面積 22.32平方粁　人口 8.197人　世帯数 1.913世帯

転出 一年に429人　転入 一年に307人

死亡

一年に 男41人 女27人

婚姻

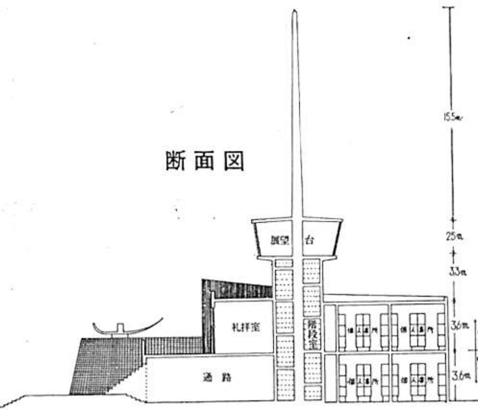
一年に 62組

出生 一年に 男44人 女35人

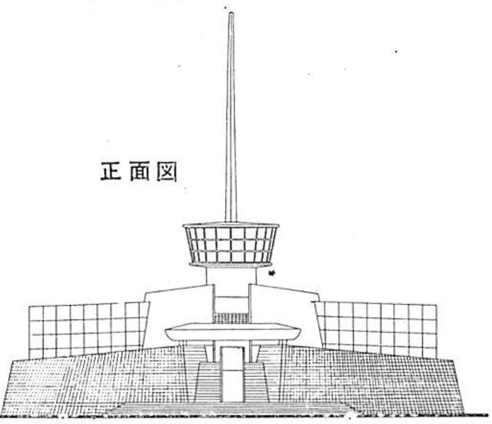
# 3カ年計画で先霊塔建設へ

## 先霊塔を中心に墓地公園を計画

断面図




正面図



大町長年の懸案事業であった砂合墓地の岡山移転工事は、昭和39年度に墓石の運搬、岡山個人墓地の区画用地、先霊塔建設用地の整地工事、そして昭和40年度には、同じく墓石の運搬を行ない、6千数百個ありました墓石の約6割程度を取り除きました。そして9月の臨町議時会では先霊塔建設工事費として7百18万円を予算に計上し12月21日にはこの先霊塔工事の起工式を行ないました。また岡山個人墓地には約2百20個の個人墓が整然と立ちならんでおり先霊塔を希望される家庭が約6百60戸あります。

このように町内の皆さんのご理解あるご協力により、この工事は順調に進展を続けております。では3カ年計画で行なわれます先霊塔建設工事の概略についてお知らせいたしましょう。この塔は鉄筋コンクリート3階建で延面積は、9百58・45平方㍍（1階6百16平方㍍、2階3百20平方㍍、3階22・45平方㍍）で1階には個人墓所、2階には礼拝室と個人墓所3階には展望台が設置されます。3カ年計画の初年度にあたる今年度は、1階の個人墓所まで工事が進められる計画です。個人墓所は、縦、横40㌢奥行き40㌢の箱の中に供養棚、位はい棚お骨棚が設置され、約3千2百個が設置されます。2階の礼拝室は64平方㍍あり、3階の展望台は地上から10・5㍍、また中心を貫く柱は28・5㍍あります。なお階段は乱線式です。

元来、墓地というものは、とかく陰気で気持の悪い所という観念が強く、香花も自然たえがちでしたが先祖崇拝の主旨からしてこれではいけない、婦人、子ども誰れもがお参りできるように、と今各地で墓地公園の計画が進められ、また完成しております。

本町も新しい時代の新しい墓地として、この先霊塔建設工事が進められますが、近き将来はこの先霊塔を中心として、噴水池、花壇などを設置し、全体緑化をもって岡山溜池を含めた墓地公園の計画が進められております。

# 成人おめでとう

## 成人式典は平素の服装で

前途洋々たる夢と希望をもってことし新たにおとなの仲間入りをされる方は145名です。これらの方々に心からお喜び申し上げます。

皆さん方は、成人としてこの輝やかしい出発にあたって、大きな希望と高い理想に燃えておられることと思いますが、明日のいない手である皆さん方が豊かな教養を身につけ自主的であるとともに協力的に行動する高度の文化人に成長することを期待してやみません。

新たに成人になられる皆さん、この意義深い成人の日には、万障をさしくられて参加しましょう。心は希望に燃え服装ははでやかにならぬよう社会から望まれています。

なお成人式典に該当される方は通知をさしあげますが、もし該当される方で通知のこない方は町教育委員会（局線175番、有線（公）3番）にご連絡ください。

【小東】川野千枝子、縄吉和夫、縄本 忠 縄本 仁 深井克美
【小南】長田 旺、古浜澄枝、古浜繁樹、松永智栄子、安永和子、長田健治
【小西】長久登志子
【北祝】浜岡絹代、岡田 猛
【南祝】坂野弘子、村重 彰 石地浩二
【恵比須】蔵谷庸子、藤村 淳 浦田居美 大塚民江
【築地】山田幸博、小中倫子、管家金太郎、林 進
【東】大沢晶子、今井和江、石川光子、縄広美代子
【縄南】中野紀子、江本初男、西村健一、村田三津枝、縄谷 洋 上野清美、縄田洋子、縄重きぬ江 山本富美子
【縄北】真重秀世、河村順子、吉川照子、江本治美、石田益子
【中村】今井マユミ、生田敏子、金田和正、中野淳子
【西条】柏谷清志、酒迎一道、中村君子、松重英美子、池田悦子
【寺河内】中村研二、梶間谷 允 村田 司、渡西三枝子、西村真一 末広敬子
【浜】明徳寛厚、浅野忠甫、山城昭男、重永久美子、青木義人、田村宏子、武永信子、藤原保彦、野原里江
【砂一】竹尾一美 宮本洋二 中村敬子
【砂二】砂村暁彦 河野南海男

中谷カズコ 塩見清子 池田義雄 橋本淑子
【砂三】上村房子 上村光徳 吉川良治 岡野静枝 土井奈津子 田中美智子
【飛石】藤田洋子 徳野正子 早瀬達之 早瀬満雄 財津英彦 松崎幸久
【岩西】田辺君子 田辺律子 田辺一則 黒田和子
【岩前】上野 満 中野嗣男 河村 清 下野 操
【岩西前】福永智代 下川豊子 石川敏子
【岩辻】武野チエ子 徳永ミツ
【岩上】中村百合男 原田マスエ
【旦東】中村峯子 田中澄子 木原雄二
【門松】藤井哲之 藤本秀明 竹原礼子
【岡】松永秋子 岡田 稔
【浜表】下野 強 西村泰昭 校崎千代子 伊名田 忠 野田優子 古川洋子 村田 孝 古谷和子
【赤迫】古谷 篤 渡辺美幸
【井関】西村 哲
【杖川】岡村安子 森重富子
【河内】山野修三郎 長尾八千代 藤田敏彦 片山光枝 片山利明 中川仁子 吾川 靖 江木礼子
【源河】紫崎久美子 林 溢子 国重ヨシ子 河崎淳子 長井政博
【引野】原田美代子 古谷笑子 村田靖子 田中 稔 芥川睦子 富田和子
【仙在】山本憲三
【向井関】堅田英雄
【青畑】小林ヤス子

# 新有権者の感想文を募集

## しめ切りは1月31日までです

新らしく有権者となる皆さん、おめでとうございます。

わが国の政治は、主権者である私たちが選んだ代表者によって運営される仕組となっています。したがって選挙は政治を運営していくための基礎となるものであり、選挙に対する国民の自覚が高まり明るく正しい選挙が行なわれるようになってはじめて、民主政治を軌道に乗せることができるものと思われます。しかし選挙の実状はまだその理想とするに程遠いものがあります。そのために一日も早く明るく正しい選挙実現の日を迎えるためには、有権者全員がこぞってより一層の努力をしなければなりません。特に新らしく有権者となられる皆さんの新鮮な感想と常識に期待するところがきわめて大きいと考えられます。

以上のような趣旨により、昭和40年に満20歳になられた方や41年中に20歳になられる皆さんを対象として政治や選挙に関する感想文を募集しております。そして選挙権行使の重要性についてその認識を深めるとともに、さらにこれを通じて広く一般の政治常識を向上させようとするものです。

**主催** 自治省、その他

**感想文の内容とその標題** 民主政治とくに選挙に対する新有権者としての自覚を内容とするものであること。標題は自由。

**枚数** 2百字詰原稿用紙10枚以内または4百字詰原稿用紙5枚以内とする。

**応募資格** 昭和20年1月1日から昭和21年12月31日までに生まれた方。

**締切り期日** 昭昭41年1月31日（当日付消印のあるものは有効とします）

**送り先** 東京都中央区郵便局区内自治省選挙局管理課

**入選者決定** 昭和41年3月中旬

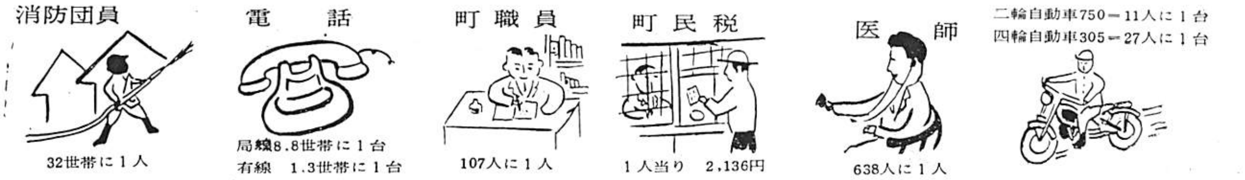
**応募上の注意** ①応募された方の住所、氏名（ともにふりがなを付すること）性別、生年月日および職業を原稿の末尾に明記すること。（枚数制限内）②感想文封入の封筒の表面左下に"感想文在中"と明記すること。

## 無料心配ごと相談所を開きます

**日時** 41年1月14日（金曜日）午前10時から午後3時まで

**場所** 町議会議場

中村区長 杉谷栄次
納税組合長 江口茂一兵衛
西条区長 工藤一雄
納税組合長 幡生静香
寺河内区長納税組合長 乗重文一
砂合一区長 磯金明二
納税組合長 塩見タケノ
砂合二区長 池村勉治
納税組合長 潮中精一
砂三区長 乗重務
納税組合長 西田豊
浜区長 正司和夫
納税組合長 浅野忠雄
飛石区長 小林京一
納税組合長 浜田康
岩西区長 高津敏雄
納税組合長 竹重静代
岩前区長 中野伊三郎
納税組合長 中本彦造
岩西前区長 石田幹雄
納税組合長 石川繁
岩辻区長 辻岡宏知
納税組合長 岡村武代
岩上区長 上野政藤
納税組合長 田辺ソノ
旦東区長 伊藤慶一
納税組合長 藤村敏夫
旦西区長納税組合長 竹原久雄
旦北区長 井上武
納税組合長 松本令子
旦門松区長 藤井富男
納税組合長 竹重済子
岡区長納税組合長 岡田三郎
浜表区長 松崎保治
納税組合長 西村寿満子
赤迫区長 弘中忠人
納税組合長 古谷アヤ子
井関区長 水本富士男
納税組合長 福重久治
野口区長 東義登
納税組合長 杉田ヤスコ
杖川区長 岡村規矩司
納税組合長 岡藤豊
河内区長 哥川浅雄
納税組合長 咲花満治
源河区長 山本栄次
納税組合長 長井秀助
向井関区長 大田功
納税組合長 大田文子
引野区長 藤重光雄
納税組合長 古谷タミノ
仙在区長 磯部晋一
納税組合長 石本敏雄
青畑区長納税組合長 小林晋一




# 新民生児童委員さん決まる

## 困つたときには相談を!!

新民生児童委員さんが決まりました。

民生児童委員さんの仕事はと申しますと、生活に困まつている方たちの生活保護や福祉社会をめざす各方面の仕事を進められます。また児童福祉などに活躍されます。新委員さんは次の方々で任期は3年です。

工藤　警治　担当部落（小東、小西、小南）

平川　惟一　担当部落（北祝、南祝）

児玉　三男　担当部落（恵比須、築地、東）

磯中　正雄　担当部落（中村、西条）

磯永　彌作　担当部落（縄北、縄南）

河村　勇熊　担当部落（寺河内、浜）

西村　正作　担当部落（砂一、砂二）

上村　梅一　担当部落（砂三、飛石）

上野　ナカ　担当部落（岩倉全区）

徳田　フミ　担当部落　旦全区、岡）

兼重タダ子　担当部落（浜表、赤坱、井関）

片山　宥賢　担当部落（野口、杖川、河内、源河）

中村　貞一　担当部落（向井関、引野、仙在、青畑）

## 出初式は1月5日に

阿知須町消防団
**火の用心**
1月5日は出初式 午前8時 サイレン1分間吹鳴

町消防団恒例の出初式は1月5日、午前9時30分から阿知須小学校校庭で行なわれますので、多数ご覧ください。

なお開会式の前に次の行事が行なわれます。

**午前8時**　サイレン1分間吹鳴
**午前8時30分**　消防団集合（阿知須小学校）
**午前9時**　消防車および徒歩隊市中行進
**午前9時15分**　消防車分例行進観閲（県道10号線阿知須小学校横）

## 社会教育振興大会が行なわれました

さる12月12日、吉敷郡教育研究会の主催により新築なった小郡町体育館において第4回社会教育振興大会が行なわれました。最近社会を明るくする母体であるといわれる社会教育が、社会情勢の複雑化にともなって急に重要視されてきておりますが、この大会は郡内の社会教育活動の実情を中心としたもので、過去の歩みをふりかえるとともに今後さらに社会教育振興の機運を高めようとするものです。

本町からは社会教育の関係団体である井関、阿知須両婦人会、青年同志会、町連合青年団の4団体が参加しました。そして社会教育に功労のあった方々が表彰され、本町は子ども会育成、井関小学校の緑化、阿知須中学校体育館建設に功労のあった片山宥賢さん（井関小学校PTA会長）が表彰されました。そして事例発表ののち「現下の国際情勢」と題して共同通信社山口支局長、藤岡荘之助氏の講演、午後は各種団体により踊り、コーラス、劇などリクレーションの発表が行なわれました。また会場には「暮しの工夫展」の展示物が展示され、人気を拍しておりました。

## 慶弔録

### 出生

おめでとうございます
ご健康をお祈りします

国重善次郎　二女　すなお　浜
上野　俊政　長男　真人　縄南
田中　順一　二男　孝志　向井関
縄田　茂夫　長女　美香　縄南

### 婚姻

おめでとうございます
この喜びをいつまでも

夫　長田　成吉　小南
妻　中谷　幸子　山口市佐山
夫　生田　興策　山口市佐山
妻　江本　敬子　砂二
夫　辻田　実　岩辻
妻　白井貴美枝　小野田市
夫　上野　誠　岩上
妻　吉本　国子　青畑
夫　柿並　幸雄　砂三
妻　重富　和江　砂三
夫　竹原　照夫　門松
妻　原田　興子　北祝
夫　徳永　勝三　岩上
妻　坂野　君子　南祝
夫　浜中　敏雄　恵比須
妻　坂本　照江　宇部市
夫　河崎　仁　浜表
妻　村田ヤスコ　向井関

### 死亡

おくやみ申し上げます

大下百合一　12月4日　77　岡
片岡文之進　12月13日　78　河内
浦田　ムメ　12月15日　87　築地
岸本　シモ　12月16日　83　西条
藤本　武一　12月17日　74　旦東

## ありがとうございました

### 歳末たすけあい募金

“みんなで明るい正月を”と全国的に繰りひろげられていた歳末たすけあい運動は、青年同志会、阿知須、井関両婦人会など各種団体のご協力をいただいて、町内の皆様からの温いお心ざしは9万5千3百27円にのぼりました。

この配分については民生児童委員会により、本町の対象者で生活保護家庭、21世帯48名、生活困窮家庭33世帯75名、また本町出身の福祉施設入所者などの方に、それぞれ皆様方の愛の贈り物が届けられ感謝されました。

この運動にあたり皆様方のご同情とご協力を紙上をかりて厚くお礼申し上げます。（厚生課）

阿知須町つくし会　5千円
阿知須共立病院長　三好　正之　2万円
井関婦人会　7千35円
阿知須婦人会　1万6千4百70円
阿知須中学校生徒　2千2百22円
阿知須町連合青年団　1千5百円
立野助一（西条）　百円
青年同志会　井関　阿知須両婦人会　阿知須町連合青年団　白菊会　遺族会　4万1千円
阿知須船員親睦会　2千円

## ことしは5千3百10人です

### 基本選挙人名簿登載人員

昨年9月15日現在により調製しました基本選挙人名簿が、さる12月20日に確定いたしました。ことしの基本選挙人名簿に登録された有権者の方は、5千3百10人（男子2千3百77人、女子2千9百33人）で昨年より56人減です。

各投票区別にみますと次のとおりです。カッコ内は昨年の登載人員数です。

第1投票区　1千7百33人（1千7百34人）
男子　7百66人（7百74人）
女子　9百67人（9百60人）
第2投票区　1千6百55人（1千6百81人）
男子　7百35人（7百53人）
女子　9百20人（9百28人）
第3投票区　8百46人（8百58人）
男子　3百76人（4百7人）
女子　4百70人（4百90人）
第4投票区　1千76人（1千93人）
男子　5百人（5百9人）
女子　5百76人（5百94人）

なお昭和40年6月15日以後本町に住み始められた方や昭和40年12月21日以後20歳になられた方は、町選挙管理委員会(町役場総務課)に補充選挙人名簿の申出書を提出いたしましょう。

## 町議会の動き

第4回定例町議会は、さる12月14日、午前9時から町議会議場において一般会計補正予算など3議案が慎重に審議された結果、全案が原案通り可決決定されました。

今回の補正予算では1千6百36万4千円が追加され、歳入歳出の総額はそれぞれ1億3千88万1千円となりました。ではその内容を説明いたしましょう。

歳入では町税4百70万5千円のうち町民税3百75万5千円、固定資産税95万円。これで町税の総額は4千2百95万円となりました。

次に国庫支出金では47万1千円が追加されました。これは給食センター建設補助ですが、これで同センター補助額は2百85万1千円となりました。県支出金では8百18万8千円が追加され、おもに農道と消防車購入にあてられるものです。また町債が3百万円あり百万円が街路事業に2百円が消防車購入にあてられます。

歳出では県委託事業として行なわれます浜表～野口間の農道に8百15万6千円があてられます。このうち7百万円余りが県から補助されます。次に消防車購入に4百46万円があてられておりますが、このうち町債が2百万円、県から百16万円が補助されます。

## 蛇口の増設廃止は必ず水道課へ

昨年7月26日から料金化された簡易水道は、その便利さ清潔さで4百80戸の水道給水家庭に大変喜ばれておりますが、町水道課では次の事をお願いがいしています。

町水道課の台帳には各給水家庭の水道管布設状況がすべて登録されておりますので、新設されるときはむろん増設、廃止、移転をされる場合は、必ず水道課に電話連絡で結構ですのでお知らせください。

たとえば3個の蛇口を2個に減じたときや、2個を3個に増したとき、また蛇口を他に移動させたときなどです。なおこれらの工事はいずれも町の指定業者である大浜勇さん、村藤伝松さんでなければできませんので申し添えます。

次にこれから先、厳しい寒さが続いて地面から露出している鋼管やビニール管が凍る場合がありますので、地面から露出している水道管には縄や布などをまいて水道管が凍らないようにいたしましょう。

なお凍って水の出ない水道管には、ぬるま湯をかけて凍りをとかしても結構ですが、あまり熱い湯ですと鋼管やビニール管が破裂する恐れがありますので気をつけましょう。